

〈メッセージ〉

関係人口とは —その意味と意義—

小田切 徳美
(明治大学)



1. 関係人口の意味

■「関係人口」論の登場

○「関係人口」の提起

- ・指出一正氏（「ソトコト」編集長）
- ・高橋博之氏（「東北食べる通信」編集長）

○その意味

・「関係人口とは、言葉のとおり『地域に関わってくれる人口』のこと。自分でお気に入りの地域に週末ごとに通ってくれたり、頻繁に通わなくても何らかの形でその地域を応援してくれる人たち」（指出『ぼくらは地方で幸せを見つける』ポプラ新書）

=「定住人口」でも「観光人口」でもない人々

・ただし、「交流人口」概念は本来はもっと多義的なもの
→その後、「観光人口」の意味に傾斜

⇒関係人口=再定義された「交流人口」

→関係人口



1. 関係人口の意味

■関係人口の量的把握(国交省アンケート調査結果、2019年)

- 三大都市圏（補足資料P42、参考1参照、以下同じ）の18歳以上の居住者（約4,678万人）のうち、約2割強（約1,080万人）が関係人口として、日常生活圏、通勤圏等以外の特定の地域を訪問している。

三大都市圏居住者の日常生活圏、通勤圏以外の地域との関わりの状況

推計の概要

- 三大都市圏に居住する約3万人に対してインターネットアンケートを実施（18歳から99歳の男女、28,466人が有効回答）
- 調査対象地域の18歳以上の人口（約4,678万人）に基づき、男女比率及び年齢構成を踏まえて拡大推計を実施

用語の定義

【関係人口（訪問系）】

日常生活圏、通勤圏、業務上の支社・営業所訪問等以外に定期的・継続的に関わりがある地域があり、かつ、訪問している人（地縁・血縁先の訪問（帰省を含む）を主な目的としている人を除く）

〈大分類〉…地域における過ごし方に応じて分類

【直接寄与型】

産業の創出、地域づくりプロジェクトの企画・運営、協力、地域づくり・ボランティア活動への参加等

【就労型】

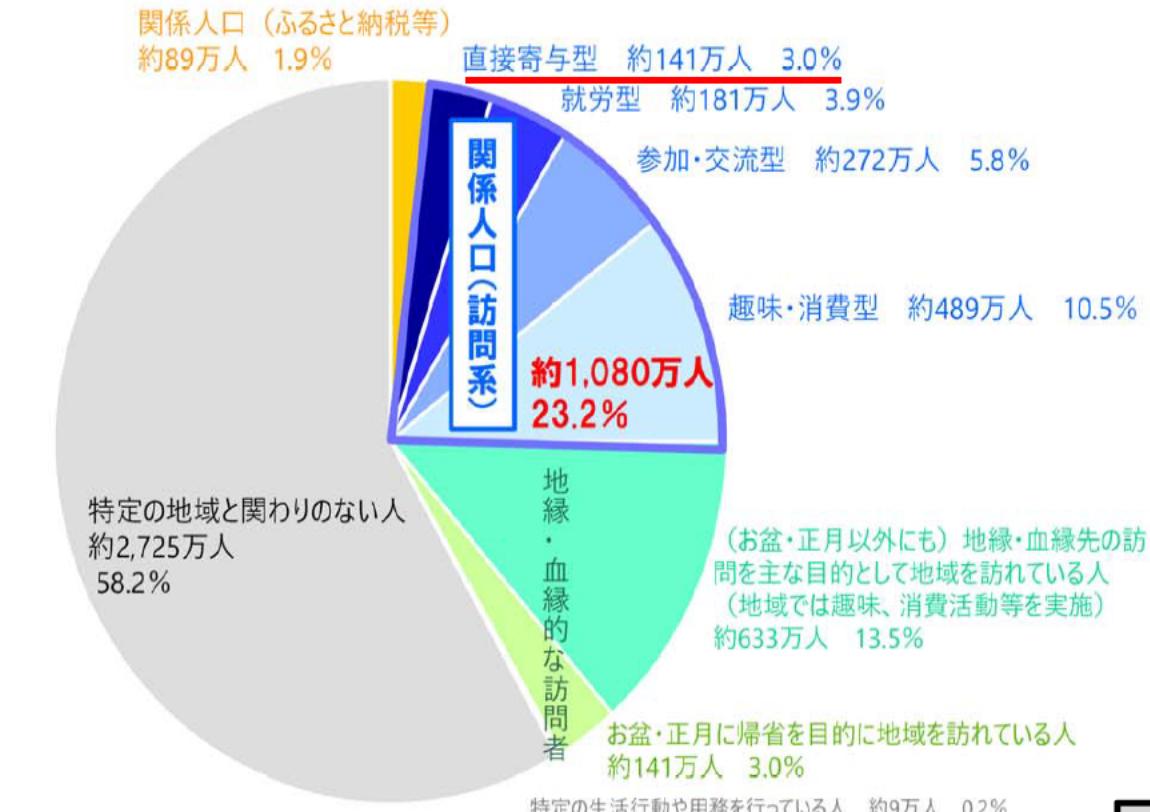
地域においてテレワーク及び副業の実施、地元企業等における労働、農林水産業への従事

【参加・交流型】

地域の人との交流やイベント、体験プログラム等に参加

【趣味・消費型】

地縁・血縁先以外で、地域での飲食や趣味活動等を実施（他の活動をしていない）



1. 関係人口の意味

■関係人口の増加要因

- ①若者ライフスタイルの多様化(「人生複線化」「アドレスホッパー」等)
- ②SNSによる関わり手段の高度化(情報入手を含め)
- ③関わり価値の発生

・関係性を持つこと自体に価値が生まれる

「これからは、仕事の場、雇用の場がある地域よりも、なにかしら新たな仕事をつくっていくことができる土壤に、意識や志の高い人びとが引き寄せられていくのではないだろうか」

「『ソーシャルに働く』という意味は、他者のため、地域のためにという直接的な動機よりも、他者と関係性を築くこととそのプロセスに重きが置かれている」(松永桂子・松永・尾野寛明『ローカルに生きる・ソーシャルに働く』農山漁村文化協会、2016年)

・「若者は関係性を作ることに力ネを払う時代」(指出氏)

1. 関係人口の意味

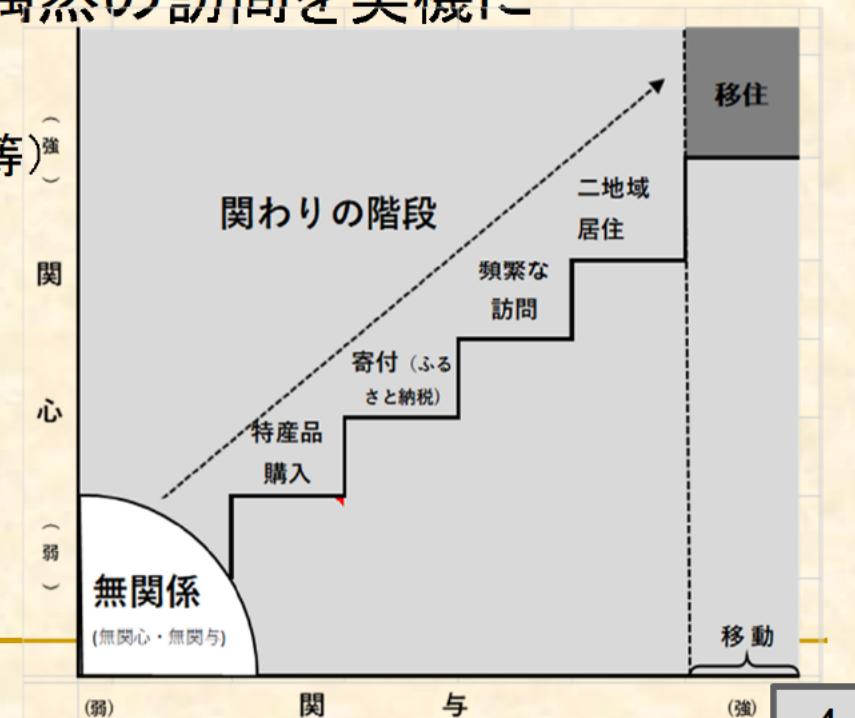
■ 移住の段階性—関係人口から見えるもの

- ・あたかも階段のように、地域への関わりを深めるプロセス
= **関わりの階段**
- ・従来は無関係→定住という飛躍(移住プロセスのスキップ)を前提
- ・関わりの階段の事例

観光地(目的地)への移動中の偶然の訪問を契機に

- ① 地域の特産品購入
- ② 地域への寄付(ふるさと納税等)
- ③ 頻繁な訪問(リピーター化)
- ④ ボランティア活動
- ⑤ 二地域居住(準定住)

↓
⑥ 定住



2. 関係人口の意義

■その意義①

1. 移住政策の精緻化

→段差を低くする=次の段階への移動を円滑化

2. 多様な移住プロセスの見える化

①関与・関係併進型（「関わりの階段」モデル）

- ・関心を関与がパラレルに増大
- ・想定される標準(理想)型

②関心先行型

- ・地域への思い→移住
- ・有機農業のための移住に事例

③関与先行型

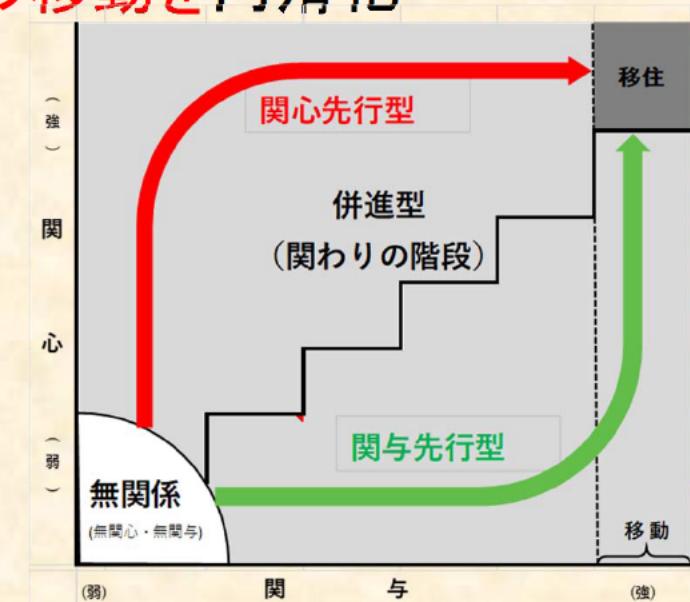
- ・移住→地域への思い
- ・スポーツ移住に事例(ex.サーフィン移住)

3. ひとりの人間の複数地域への多様な関わり

→国内人口の「奪い合い」志向からの脱却

4. 移住の拡大の前提としての関係人口の増大

→移住の裾の拡大（「枯渇しない」田園回帰）



2. 関係人口の意義

■その意義②—さらなる多様性

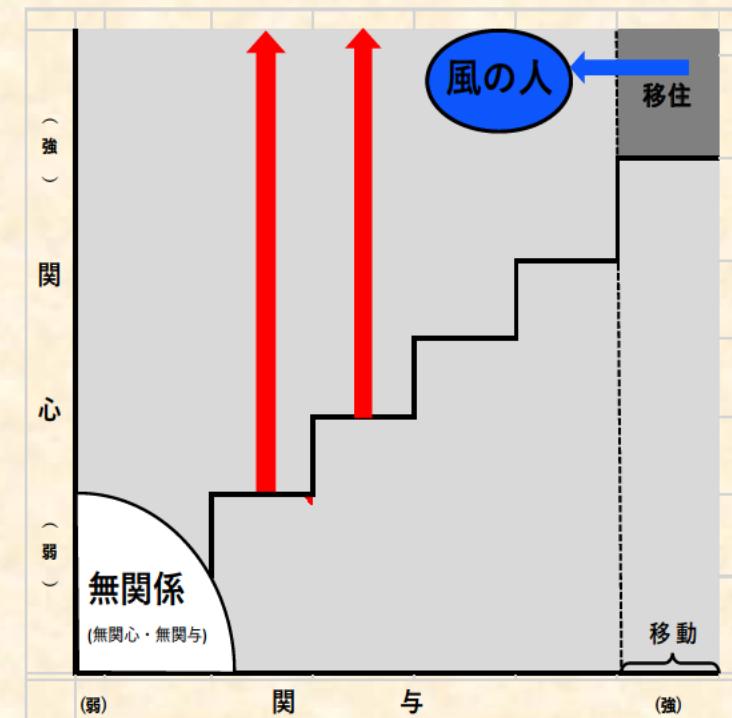
- ・移住ではない動き

①移住しない関係人口

- ・移住を前提としない移動
=(狭義)関係人口
- ・課題解決への高い貢献意識
- ・地域サイドの「住まないなら余計なことを言うな」は逆効果
=若者はそこから離れていく

②逆流関係人口

- ・いわゆる「風の人」(田中輝美氏)
- ・「移住」+「去る」(地域に同化する前に去る)
- ・他地域に移住しながらも地域に係わる



3. おわりに－関係人口とは何か？

◎わかっていること

- ①関心＋関与＝関係
- ②「関わり価値」が生まれ始めている
- ③関係人口には大きな多様性がある（現状も、動態も）
- ④量的な大きさは、（大方の）予想を上回る。
- ⑤関係人口≠移住候補者
(ただし、結果として移住する者もおり、その事実も重要)
- ⑥関係人口は特定の地域に集まる
(地域間格差が生まれている)
- ⑦集まる地域（面白い地域）は地域自身が作るもの
(地域の「内発的発展」が改めて注目される)

3. おわりに－関係人口とは何か？

◎わかりはじめたこと

- ①(地域に集まるが)関係性のベースは<人一人>
- ②「関係案内所」はこの<人一人>を作り出す場
(きっかけがあり、空間があり、時間があるところ)
- ③関係人口は地方にもいる(地域内関係人口)
- ④関係人口の入口は「偶然の出会い」
- ⑤その偶然の確率を高めるために「場」を作る必要
- ⑥オンラインで緩やかにつながることも有効
(オンライン関係人口)

※いろいろなことがわかり、しかし沢山のことがわかっていません。本フォーラムを契機に一緒に考えましょう！

ご静聴、ありがとうございました